

# 特集 ● 都市基盤の整備 《施設》

## ● 戦災からの復興



仙台駅仮駅舎完成 昭和22年 1947年

中央右が昭和20年7月の仙台空襲で消失した初代木造駅舎に替わり、翌21年7月に完成した仙台駅仮駅舎。駅前広場に並ぶ人力車は、当時「輪タク」と呼ばれ、市民の手軽な足として親しまれました。



東二番丁通 昭和23年 1948年

手前が南町通で、奥に伸びるのが拡幅前の東二番丁通。この通りに沿って飲食店などが並び、この一帯は、仙台銀座と呼ばれました。



芭蕉の辻 昭和24年 1949年

仙台空襲で街並みが消失した大町商店街は金融街として復興。二階建てビルは昭和21年11月、芭蕉の辻に再建された日銀仙台支店。



青葉通の工事 昭和25年 1950年

終戦から5年。工事も本格化。



拡幅された東一番丁通 昭和26年 1951年

通りの正面に見えるのが仙台市役所。その手前には三越仙台店が建つ。

(資料提供 5点：河北新報社)

## ● 昭和、発展の時代へ



天文台開台 昭和30年 1955年

(資料提供：せんだいメディアテーク)

仙台市西公園に設置された天文台。昭和43年には東北初のプラネタリウム館を開館。



八木山動物公園開園

昭和40年 1965年

(資料提供：せんだいメディアテーク)

仙台市の動物園の始まりは昭和11年。全国で11番目の動物園として花壇に創設されましたが、仙台空襲により閉鎖。その後、三居沢に子供動物園として復活するも立地条件から新しい動物園の建設が検討され、八木山動物公園が誕生しました。



市役所新庁舎完成 昭和40年 1965年

(資料提供：せんだいメディアテーク)

現在の市庁舎が完成。2年後にはBCS賞(日本建設業連合会)受賞。



一殿と大きく美しく  
生まれ変わった仙台市博物館

感動する、海へ、  
響く、作る、海へ、  
仙台市博物館  
生まれ変わった仙台市博物館



新仙台駅開業 昭和52年 1977年

東北新幹線の建設に伴い駅舎を再建。ペDESTリアンデッキが整備されました。

新博物館開館 昭和61年 1986年

仙台の歴史・美術・文化に関する資料の保管・展示・研究のため、昭和61年に旧館を全面改築。

## ● 高度医療機関の整備進化



お待たせ七月開院  
白垂の仙台市立病院完成

市立病院移転開院(五橋)

昭和55年 1980年

東二番丁から五橋の三島学園跡地に移転した地上10階、地下1階の市立病院。平成26年の移転までの34年にわたり、仙台市の医療を支えました。



仙台市立病院が全面移転

入院82人  
無事移送

外来診療4日から

市立病院移転開院(あすと長町)

平成26年 2014年

耐震性の問題や設備面の老朽化などから平成26年に移転。

## ● まちの魅力が、いっそう充実



仙台国際センター開館 平成3年 1991年

平成3年に会議棟、平成26年に展示棟が完成し、さまざまなイベントに対応。地下鉄東西線開通に伴い「国際センター駅」が設置され、利便性が向上しました。



アエルオープン 平成10年 1998年

オープン当初は東北地方で最高層のビルとして評判を呼びました。



仙台文学館開館 平成11年 1999年

地域の文学活動の拠点となることをコンセプトに、郷土ゆかりの文学に関する資料を収集・保存しており、企画展や講演会、コンサートも行われています。



せんだいメディアテーク開館 平成13年 2001年

(資料提供：せんだいメディアテーク)

日本を代表する建築家・伊東豊雄氏が設計し、平成13年にはグッドデザイン大賞を受賞。美術・音楽・映画などの文化活動が盛んに行われています。